

喜多村進 きただ村 すすむ

小説家。明治二十一年九月十四日和歌山縣生れ、昭

和二十二年十一月一日歿（六九—九五）。筆名南十二、南草、喜多村

晉、喜多村生。青山學院英文科卒。南葉、文庫等の勤務。雑誌『文藝世

界』、『創造』、『藝術解放』等の筆を執つた。

繪著書『青磁色の春』（昭和二年四月十四日福永書店）、鎌田榮吉著

『南のたび』（編、昭和二年十一月徳川頼貞序、無刊記）、『紀州萬

華鏡』（昭和十一年十一月五日和歌山・津田源兵衛書店）等。

